

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開平9-215495

(43) 公開日 平成9年(1997)8月19日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
C12N 15/09	ZNA	9282-4B	C12N 15/00	ZNA A
C07H 21/04			C07H 21/04	B
C07K 14/47			C07K 14/47	
16/18			16/18	
C12N 15/02			C12P 21/08	

審査請求 未請求 請求項の数 16 FD (全23頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願平8-181514	(71) 出願人	000183370
(22) 出願日	平成8年(1996)6月20日		住友製薬株式会社
(31) 優先権主張番号	特願平7-345659		大阪府 大阪市中央区道修町2丁目2番8号
(32) 優先日	平7(1995)12月7日	(72) 発明者	橋本 保
(33) 優先権主張国	日本 (JP)		京都市左京区田中大堰町173番地の1
		(72) 発明者	八十島 講二
			京都市上京区寺町今出川上ル表町23番地
		(72) 発明者	辻村 敦
			京都府向日市物集女町御所海道5番地
		(74) 代理人	弁理士 細田 芳徳

(54) 【発明の名称】 脳特異的発現遺伝子およびその利用

(57) 【要約】

【解決手段】 脳特異的発現遺伝子、該遺伝子の全部又は一部を含むポリヌクレオチドおよび該遺伝子がコードするポリペプチドの全部または一部を含むポリペプチド、並びに該ポリペプチドに対する特異的抗体。

【効果】 本発明により、アルツハイマー型痴呆症患者の脳に特異的に発現する新規な遺伝子の塩基配列、この遺伝子のコードするポリペプチドのアミノ酸配列、およびこのポリペプチドに特異的な抗体を提供することができる。これらの遺伝子、遺伝子産物、および特異的抗体はアルツハイマー型痴呆症の診断に極めて有用である。

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-94392

(43) 公開日 平成10年(1998)4月14日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	FI	技術表示箇所
C12N 15/09	ZNA	C12N 15/00	ZNA A
C07H 21/04		C07H 21/04	B
C07K 14/415		C07K 14/415	
C12Q 1/68		C12Q 1/68	A
// A01H 5/00		A01H 5/00	

審査請求 未請求 請求項の数 4 0L (全14頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願 平8-250122	(71) 出願人	000004374 日清紡績株式会社 東京都中央区日本橋人形町2丁目31番11号
(22) 出願日	平成8年(1996)9月20日	(72) 発明者	長谷川 修 東京都足立区西新井栄町1-18-1 日清紡績株式会社東京研究センター内
		(72) 発明者	青塚 聡 東京都足立区西新井栄町1-18-1 日清紡績株式会社東京研究センター内
		(72) 発明者	竹西 壮一郎 東京都足立区西新井栄町1-18-1 日清紡績株式会社東京研究センター内
		(74) 代理人	弁理士 遠山 勉 (外2名)

最終頁に続く

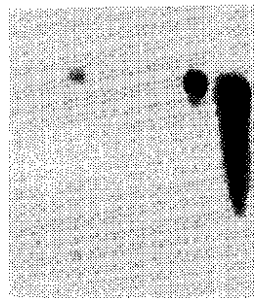
(54) 【発明の名称】ワタ遺伝子

(57) 【要約】

【課題】 ワタにおける繊維形成機構を制御し、産業上有用な品種改良ワタに用いられる遺伝子を提供する。

【解決手段】 ランダムに選択したワタcDNAクローンの塩基配列を決定し、それらの配列と遺伝子データベース中の既知の遺伝子配列との間でホモロジー検索を行い、データベース中の遺伝子とホモロジーを有するクローンの中から配列番号1に示す配列を有するワタの繊維形成時に繊維細胞中で多量に転写される遺伝子、詳しくは転写因子の特徴的配列の一つである亜鉛フィンガー・モチーフを持つアミノ酸配列をコードする遺伝子を見出した。

1 2 3 4 5 6



- 1 発芽後5日目の若芽
- 2 発芽後10日目の根
- 3 発芽後5日目の子葉
- 4 本葉
- 5 開花後10日目の繊維細胞
- 6 開花後17日目の繊維細胞

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-330759
(P2002-330759A)

(43) 公開日 平成14年11月19日(2002.11.19)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	テマコード(参考)
C12N 15/09		C12Q 1/02	4B024
C12Q 1/02		1/66	4B063
1/66		G01N 33/53	Z
G01N 33/53		33/566	
33/566		C12N 15/00	A

審査請求 未請求 請求項の数 53 0L (全20頁)

(21) 出願番号 特願 2001-319364(P2001-319364)
(22) 出願日 平成 13年10月17日(2001.10.17)
(31) 優先権主張番号 09/690391
(32) 優先日 平成 12年10月17日(2000.10.17)
(33) 優先権主張国 米国(US)

(71) 出願人 590002035
ローム アンド ハース カンパニー
ROHM AND HAAS COMPANY
アメリカ合衆国 19106-2399 ペンシ
ルバニア州 フィラデルフィア, インデ
ィペンデンス モール ウェスト 100

(72) 発明者 バリー・ウェインSTEIN
アメリカ合衆国ペンシルバニア州19025
, ドレッシェー, ブルーバード・レーン
・419

(74) 代理人 100073139
弁理士 千田 稔 (外2名)
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 遺伝子発現を使用して生産物を同定する方法

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 遺伝子発現を使用して生産物を同定する方法を提供する。

【解決手段】 (a) マーカーリガンドを該生産物に関連付けし; (b) 該生産物を同定する手段として、該生産物を、(1) 1以上の天然または合成リガンド依存性転写因子であって、少なくとも1つのリガンド結合ドメイン、少なくとも1つのDNA結合ドメインおよび少なくとも1つのトランス活性化ドメインを含む前記転写因子をコードする1以上の第1のヌクレオチド配列; および(2) レセプター応答エレメントまたは改変もしくは合成された応答エレメント、および第2のプロモーターの制御調節下のレポーター遺伝子をコードする第2のヌクレオチド配列; を含む組成物と接触させ、さらに該レポーター遺伝子の発現の変化を誘導し、該変化が検出可能なシグナルを生じさせ、該生産物における該リガンドの存在を同定する、前記生産物を同定する方法。が開示される。

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-14742

(P2003-14742A)

(43) 公開日 平成15年1月15日(2003.1.15)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI		テマコード [*] (参考)
G01N 33/53		G01N 33/53	M	4H045
			U	
C07K 17/02		C07K 17/02		
17/14		17/14		
G01N 33/566		G01N 33/566		

審査請求 未請求 請求項の数 26 0L (全 11頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願 2001-168969(P2001-168969)	(71) 出願人	000005201 富士写真フイルム株式会社 神奈川県南足柄市中沼210番地
(22) 出願日	平成 13年6月5日(2001.6.5)	(72) 発明者	猪股 弘子 埼玉県朝霞市泉水3-11-46 富士写真フイルム株式会社内
		(72) 発明者	小島 政芳 埼玉県朝霞市泉水3-11-46 富士写真フイルム株式会社内
		(74) 代理人	110000109 特許業務法人特許事務所サイクス (外3名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 生物学的素材チップ

(57) 【要約】

【課題】 迅速かつ安定に結合固定可能な反応性固相担体に少なくとも一つのタンパク質又はタンパク質結合物質(但し、核酸を除く)が結合固定されてなるチップ、及びそのチップを用いた特異的結合標的物質の検出方法を提供すること。

【解決手段】 有機物質により形成された凹凸を有する固相担体に、少なくとも一つのタンパク質又はタンパク質結合物質(但し、核酸を除く)の残基であるAが、下記式(I)のようにスルホニル基を介した共有結合により結合していることを特徴とする生物学的素材チップ; 固相担体 L SO₂ X A (I)

[式(I)において、Lは連結基を表わし、Xは、-CR¹(R²)-CR³(R⁴)-を表わし; R¹、R²、R³及びR⁴は、互いに独立に、水素原子、炭素原子数1乃至6のアルキル基、炭素原子数6乃至20のアリール基、又は炭素原子数1乃至6のアルキル鎖を有する合計炭素原子数が7乃至26のアラルキル基を表し、Aはタンパク質又はタンパク質結合物質(但し、核酸を除く)の残基を示す。]

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-79373
(P2003-79373A)

(43) 公開日 平成15年3月18日(2003.3.18)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	テマコード(参考)
C12N 15/09	ZNA	A61K 45/00	2G045
A61K 45/00		C07K 14/47	4B024
C07K 14/47		16/18	4B064
16/18		C12N 1/15	4B065
C12N 1/15		1/19	4C084

審査請求 未請求 請求項の数 21 0L (全24頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願 2001-272771 (P2001-272771)	(71) 出願人	500386563 株式会社ファルマデザイン 東京都中央区八丁堀4-2-10 第二後関ビル3F
(22) 出願日	平成 13年9月7日(2001.9.7)	(72) 発明者	中山 恒 東京都文京区千駄木5-43-15 セイワハイツ103号
		(72) 発明者	宮島 篤 東京都練馬区立野町31-33 最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 新規なジンクフィンガータンパク質EZI及びその遺伝子

(57) 【要約】

【課題】 新規なジンクフィンガータンパク質EZI及びその遺伝子の提供。

【解決手段】 新規なジンクフィンガータンパク質EZI (endothelial zinc fingerprotein)、該タンパク質をコードするEZI遺伝子、該遺伝子を含有する組換えベクター、該組換えベクターを含む形質転換体及びEZIタンパク質の製造方法。